

国研とクラブの交流の歩み

岡崎南ロータリークラブ会長
中 嶋 昭 史

自然科学研究機構の基礎生物学研究所と生理学研究所が創設 30 周年を迎えられることを心よりお祝い申し上げます。私は本年度、岡崎南ロータリークラブの会長をしております中嶋昭史と申します。常日頃は自然科学研究機構のみなさまには何かとお世話になりましてありがとうございます。誌面をお借りいたしまして御礼申し上げます。

さて、私に 30 周年記念誌に一言とのご依頼をいただきましたので、自然科学研究機構（当クラブでは国研と呼ばせていただいております）と岡崎南ロータリークラブとの交流について述べさせていただきます。

国研と岡崎南ロータリークラブとの交流は昭和 59 年、クラブ創立 20 周年（岡田庸男会長）の記念事業として始まりました。明大寺の丘、愛知学芸大学（現愛知教育大学）の跡地に 9 年前に立派な研究所が出来たことは知っておりましたが、我々市民にとっては象牙の塔といった存在でした。当時、我々クラブの会員でもあり国研の丘の下で産婦人科の病院の院長をしておりました神谷宏先生が初代の国研交流委員長に就任し、その後 10 年間委員長を努め、今日の国研交流の基を作られ、クラブでは国研といえば神谷宏先生という存在になりました。当時の内菌機構長の地域に密着した、開かれた研究所にしていきたいとお話をもあり、分子科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所の教授のみなさまにも国研の交流委員になっていただき、ご指導・ご協力によりまして国研との交流活動が始まることとなりました。

昭和 59 年 4 月 6 日、岡崎南ロータリークラブ創立 20 周年記念式典において、内菌機構長に当クラブ岡田庸男会長より、交流資金と声明文を手渡され国研との交流がスタートすることとなりました。ここで、声明文と国研との交流についての主旨、目的及び基本要項を述べさせていただきます。

声明文

岡崎南ロータリークラブは、創立 20 周年記念を期して、岡崎国立共同研究機構との間に、交流委員会を設置し、交流資金 200 万円を設定して、別に定める主旨、目的及び基本要項を遵守して、交流活動を積極的に推進することを声明します

主旨

我々の住む街に、岡崎国立共同研究機構が設立されて以来 10 年、今やその内容実績は国内はもとより、海外からも素晴らしい評価を受け注目されています。同時に世界の国々からの研究者の来岡も

年毎に増加しています。

このような世界に冠たる研究機関の存在を我々岡崎市民は誇りとし、21世紀に向けて更に充実、発展することを希うものであります。

当委員会は、岡崎南ロータリークラブの創立20周年を期して設立され、その交流、親睦を通じて相互協力のもとに下記基本要項にもとづいて諸々の活動を行うものである。

基本要項

1. 国立研究所に対する市民の認識と理解を高める為の活動。
2. 青少年に科学への関心をたかめ、更に科学教育振興の為の活動。
3. 国内外の研究者及びその家族との親交をはかり、ひいては国際的友好を深め、相互理解を高める為の活動。

今年で国研の皆様との交流も23年目を迎えております。その間、関係するクラブ、国研の諸先輩の努力によりましていろいろな活動、交流が行われております。市内の理科の先生を対象とした国研セミナーも昭和61年より現在まで年4～5回開催されております。また岡崎に来られた外国の研究者とその家族のみなさまと岡崎南ロータリークラブの会員とその家族とのバーベキューパーティや日本伝統行事である餅つき会などは年中行事となりお互いの親睦交流の広場となり親睦をますます深めております。

また、岡崎に来られた外国の研究者のための英語版ガイドブック『KEY TO LIVING IN OKAZAKI』を贈呈させていただき大変好評をいただいております、改訂版も出しております。

平成9年には、三島ロッジに建設された岡崎コンファレンスセンターの中庭に国研と岡崎南ロータリークラブとの交流と基礎生物学研究所、生理学研究所の20周年記念をお祝いして石灯籠を寄贈させていただきました。そのコンファレンスセンターにおいて、毎年、国研交流例会を開催させていただき、機構長はじめ、3研究所の教授のみなさまにお願いいたしまして卓話をしていただいております。我々ロータリアンには、レベルの高いお話ですが、毎年どんなお話が聴けるか楽しみにしております。ほんとうにありがとうございます。

平成13年11月、長年に渡る国研との交流活動が評価され、ロータリークラブとしては、全国で唯一、文部科学大臣表彰の栄誉を受けることが出来ました。その年の年末には受賞祝賀会を開催し、機構長はじめ、研究所の教授、外国人研究者、職員のみなさまをお招きして喜びを分かち合うことができました。

国研の3研究所では、岡崎市民向けの広報誌『OKAZAKI』を5年前から発行して、研究所の活動を市民に紹介しておられます。また、小学校・中学校・高等学校はじめ、PTA、医師会などに出前授業なされるとお聞きしております。岡崎のみなさんは幸せです。国研のおかげで、世界で活躍され、ノーベル賞も夢ではない教授のみなさまの講義が直接聴けるのですから。将来を担う子供たちに学校での理科離れが指摘されるなか、将来、岡崎の子供たちの中から素晴らしい科学者が育ってくれることを

願ってやみません。

この自然科学研究機構（国研）に、日本全国からの研究者が来岡され、OKAZAKI の名を世界に発信していただいていることを岡崎南ロータリークラブの会員一同は岡崎市民と共に誇りに思っております。

今後とも、自然科学研究機構と岡崎南ロータリークラブとの交流が深まり、歴代機構長はじめ、教授、職員のみなさま、またクラブの諸先輩に敬意をはらうとともに、国研交流の輪が大きくなるとともに、若いクラブの会員が交流の主旨を頭において受け継いでもらうことを願っております。

研究所のみなさまが輝かしい研究成果をあげられることをお祈りいたしまして挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



図 1. 2000.6.16 国研交流例会 長濱嘉孝先生